

科目名	社会福祉援助技術	教員名	たかの かずみ 高野 和美	開 講	保育科	2年次	前・後期																																
<p>・目的と内容</p> <p>近年、家庭や地域の子育ての力が弱まり、子どもへの虐待などさまざまな家庭の問題や子どもの心配な行動などが社会問題としてとりあげられています。こうした背景の中で保育所、幼稚園、学童保育所、子育て支援センターなど地域の子どもたちに関わりのある施設・機関に支援が求められています。</p> <p>このような時代の要請に応じられるよう社会福祉援助技術の基礎について学びたいと考えています。</p> <p>演習科目なので教員が一方向的に話すのではなく、できる限り学生が意見を交換するグループワークやロールプレイにより「社会福祉の援助とはなにか」からだと頭を使って実際に「やってみて学ぶ」方式をとっていきます。</p>																																							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：30 回]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>[前期]</th> <th>[後期]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. オリエンテーション 社会福祉援助技術とは何か</td> <td>1. 面接の意義とその技法</td> </tr> <tr> <td>2. 社会福祉援助技術とは何か</td> <td>2. 面接の実際～ロールプレイ</td> </tr> <tr> <td>3. 援助における他者理解・自己理解</td> <td>3. 面接の実際～ロールプレイ</td> </tr> <tr> <td>4. 援助における他者理解・自己理解</td> <td>4. 集団援助技術（グループワーク）とは何か</td> </tr> <tr> <td>5. 援助における他者理解・自己理解</td> <td>5. グループワークの進め方</td> </tr> <tr> <td>6. 社会福祉援助と価値観</td> <td>6. グループワーク事例について</td> </tr> <tr> <td>7. 専門職としての倫理</td> <td>7. 地域援助技術（コミュニティワーク）とは何か</td> </tr> <tr> <td>8. コミュニケーションの意義とその方法</td> <td>8. チームアプローチ・ネットワークについて</td> </tr> <tr> <td>9. 非言語的コミュニケーション</td> <td>9. 家族への支援</td> </tr> <tr> <td>10. 言語的コミュニケーション</td> <td>10. 家族への支援</td> </tr> <tr> <td>11. 個人に対する援助（1）個別援助技術（ソーシャルケースワーク）とは何か</td> <td>11. 事例検討</td> </tr> <tr> <td>12.（2）援助の原則</td> <td>12. 事例検討</td> </tr> <tr> <td>13.（3）援助の進め方</td> <td>13. 事例検討</td> </tr> <tr> <td>14.（4）記録と評価</td> <td>14. 事例検討</td> </tr> <tr> <td>15. 前期のまとめ</td> <td>15. 全体のまとめ</td> </tr> </tbody> </table>								[前期]	[後期]	1. オリエンテーション 社会福祉援助技術とは何か	1. 面接の意義とその技法	2. 社会福祉援助技術とは何か	2. 面接の実際～ロールプレイ	3. 援助における他者理解・自己理解	3. 面接の実際～ロールプレイ	4. 援助における他者理解・自己理解	4. 集団援助技術（グループワーク）とは何か	5. 援助における他者理解・自己理解	5. グループワークの進め方	6. 社会福祉援助と価値観	6. グループワーク事例について	7. 専門職としての倫理	7. 地域援助技術（コミュニティワーク）とは何か	8. コミュニケーションの意義とその方法	8. チームアプローチ・ネットワークについて	9. 非言語的コミュニケーション	9. 家族への支援	10. 言語的コミュニケーション	10. 家族への支援	11. 個人に対する援助（1）個別援助技術（ソーシャルケースワーク）とは何か	11. 事例検討	12.（2）援助の原則	12. 事例検討	13.（3）援助の進め方	13. 事例検討	14.（4）記録と評価	14. 事例検討	15. 前期のまとめ	15. 全体のまとめ
[前期]	[後期]																																						
1. オリエンテーション 社会福祉援助技術とは何か	1. 面接の意義とその技法																																						
2. 社会福祉援助技術とは何か	2. 面接の実際～ロールプレイ																																						
3. 援助における他者理解・自己理解	3. 面接の実際～ロールプレイ																																						
4. 援助における他者理解・自己理解	4. 集団援助技術（グループワーク）とは何か																																						
5. 援助における他者理解・自己理解	5. グループワークの進め方																																						
6. 社会福祉援助と価値観	6. グループワーク事例について																																						
7. 専門職としての倫理	7. 地域援助技術（コミュニティワーク）とは何か																																						
8. コミュニケーションの意義とその方法	8. チームアプローチ・ネットワークについて																																						
9. 非言語的コミュニケーション	9. 家族への支援																																						
10. 言語的コミュニケーション	10. 家族への支援																																						
11. 個人に対する援助（1）個別援助技術（ソーシャルケースワーク）とは何か	11. 事例検討																																						
12.（2）援助の原則	12. 事例検討																																						
13.（3）援助の進め方	13. 事例検討																																						
14.（4）記録と評価	14. 事例検討																																						
15. 前期のまとめ	15. 全体のまとめ																																						
<p>・講義の進め方</p> <p>講義形式のほかロールプレイやグループワークなど演習を多く取り入れます。</p>																																							
<p>・試験と成績評価</p> <p>出席回数・講義や演習への参加態度、定期試験・レポートにより総合的に評価します。</p> <p>演習での知識や技能の積み重ねを大切に考えていますので、演習への参加・態度・出席回数は特に重視します。</p>																																							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>子どもやその保護者を取り巻く状況はますます厳しくなっており、その支援にあたる専門職には大きな期待が寄せられています。社会福祉援助技術を学ぶなかで、専門職として何ができるのか、何をしなければならないのかを考えていける授業を皆さんとともに作っていきたいと思っています。</p>																																							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：「保育者のための社会福祉援助技術」小林育子・小舘静枝（編） 萌文書林</p> <p>参考書：特になし</p> <p>その他：必要な資料を適宜配布</p>																																							